

取材のお願い

外務省主催「第12回日本国際漫画賞」 受賞作品代表者4名を日本に招へい

国際交流基金は、2月26日（火）に開催される「第12回日本国際漫画賞」の授賞式にあわせて、最優秀賞・優秀賞受賞作品を執筆した4名を日本に招へいます。

同賞は、世界に広がるマンガ文化を通じて国際交流と相互理解の輪を広げることを目的に、外務省が主催するものです。招へい期間中、受賞作品代表者は、授賞式に出席するほか、出版社やアニメ制作スタジオへの訪問などを通じて日本のマンガ関係者と交流するとともに、日本のマンガ文化への理解を深めます。

メディアの皆様におかれましては、ぜひご取材いただけますよう、お願い申し上げます。**取材をご希望の場合は、訪問先などへの調整が必要となりますので、事前に広報担当者にご連絡ください。**

記

【招へい期間】 2019年2月24日（日）～3月5日（火）

【授賞式・レセプション】 2019年2月26日（火）

【招へい者】

最優秀賞『黒い塔』 Tang Xiao(Dani)氏（中国）

優秀賞『身体の老いとともに感情もまた老化する』 Aimée de Jongh 氏（オランダ）

優秀賞『十八階焼肉』 Lai Tat Tat Wing 氏（香港）

優秀賞『ミセイエキ』 Shangomola Edunjobi 氏（イギリス）

※次頁以降に招へい者のプロフィール、作品のあらすじを記載しております。

以上

■日本国際漫画賞について

世界に広がるマンガ文化を通じて国際交流と相互理解の輪を広げることを目的として、2007年（平成19年）に麻生太郎外務大臣（当時）が提唱し、外務省が主催。里中満智子氏（漫画家）を委員長とする日本国際漫画賞審査委員会の審査を経て、同賞実行委員会により、最優秀賞1作品、優秀賞3作品を含む受賞作15作品が選定された。今回は、68の国・地域から331作品の応募があった。応募の多かった国・地域は、台湾（第1位：38作品）、中国（第2位：32作品）、タイ（第3位：16作品）。ウェブサイト：<http://www.manga-award.mofa.go.jp/>

この件に関するお問い合わせ：

国際交流基金 コミュニケーションセンター（広報担当：熊倉、原田）

Tel: 03-5369-6075 / Fax: 03-5369-6044

E-mail: press@jpf.go.jp

招へい者のプロフィール、作品のあらすじ



写真：トウ・ショウ氏
画像：受賞作品表紙

トウ・ショウ（湯霄（Dani）） 最優秀賞受賞作品“ Yang Hao and his four compositions”（黒い塔）

- 出版国・地域：中国
- あらすじ：Yang Hao という少年が書くことを通して、自分の家族を知っていく物語。この物語の中で、彼は全部で 4 つの作文を書いた。すべてを書き上げた後、自分の感情や家族への向き合い方を学んだ。



写真：エマー・デ・ヨング氏 ©Julia Dusee
画像：受賞作品表紙 ©Dargaud Benelux 2018

エマー・デ・ヨング（Aimée de Jongh） 優秀賞受賞作品“ Planned obsolescence of our feeling”（身体 の老いとともに感情もまた老化する）

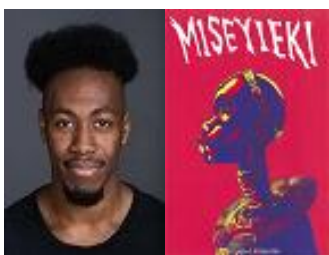
- 出版国・地域：ベルギー
- あらすじ：妻を亡くして数年、仕事もなく孤独な男。そして 1 度も結婚したことがない独身で、母から譲り受けた酪農場を所有する女。寂しい生活を送る 2 人の間に起きる大きなラブストーリー。



写真：ライ・ダダツ・ウィン氏
画像：受賞作品表紙

ライ・ダダツ・ウィン（黎達達榮） 優秀賞受賞作品“ The Pork Chops Inferno”（十八階焼肉）

- 出版国・地域：中国（香港）
- あらすじ：火事になったオフィスから焼き出された 7 人の会社員。現実との中間地帯に閉じ込められてしまった。ほどなく、体が壁を通り抜けて実体ある身体ではないことを知った。雑誌の食べ物の写真に火をつけると豪華な夕食になった。すべてが彼らが生き続けるための重要な源になっていった。



写真：シャンゴモラ・エドウンジョビ氏
画像：受賞作品表紙

シャンゴモラ・エドウンジョビ（Shangomola Edunjobi） 優秀賞受賞作品“ MISEYIEKI”（ミセイエキ）

- 出版国・地域：イギリス
- あらすじ：母が亡くなって 7 年、16 歳になった少女は村が期待する結婚という慣習にどう対処するのか悩んでいた。求婚者たちは理想とはほど遠く、父を説得できるのか。一方、母を奪った脅威がまた忍び寄っていた。